



については、公表しない。

- (加藤委員) 今後、他市と一緒に選定していく事は考えていないのか。
- (学校教育課長) 例えば、備前、瀬戸内、赤磐のグループに加えてもらうことや、倉敷市と一緒にさせてもらうことが考えられる。玉野市の子どもたちにとって一番ふさわしいと先生方が考える教科書を採択をしようとする、他市と一緒にやるとそれぞれの市で思いが違うところもあるため、どちらがいいのかは難しいところである。
- (加藤委員) 玉野市は高校受験は岡山学区に含まれる。岡山市内の高校を受験する中学生が多いことを考えると、岡山市と一緒にやっていくことも考えてはどうか。
- (学校教育課長) 岡山市が政令指定市であるため一緒にできるかどうかは調べてみないとわからない。教科書会社によって学習内容の差、レベルの差というのはない。今後、岡山市と一緒にできるかは研究してみたいと思う。
- (妹尾委員) 玉野市の子どものために先生方が自分たちで教科用図書選定するのは理想であるが、研究にすごく時間をかけられており、先生方にとってはかなり負担になっているのではないか。
- (学校教育課長) そういう声は直接聞いていないが大変だとは思っている。教員の仕事ということでご理解いただいている。

(承認)